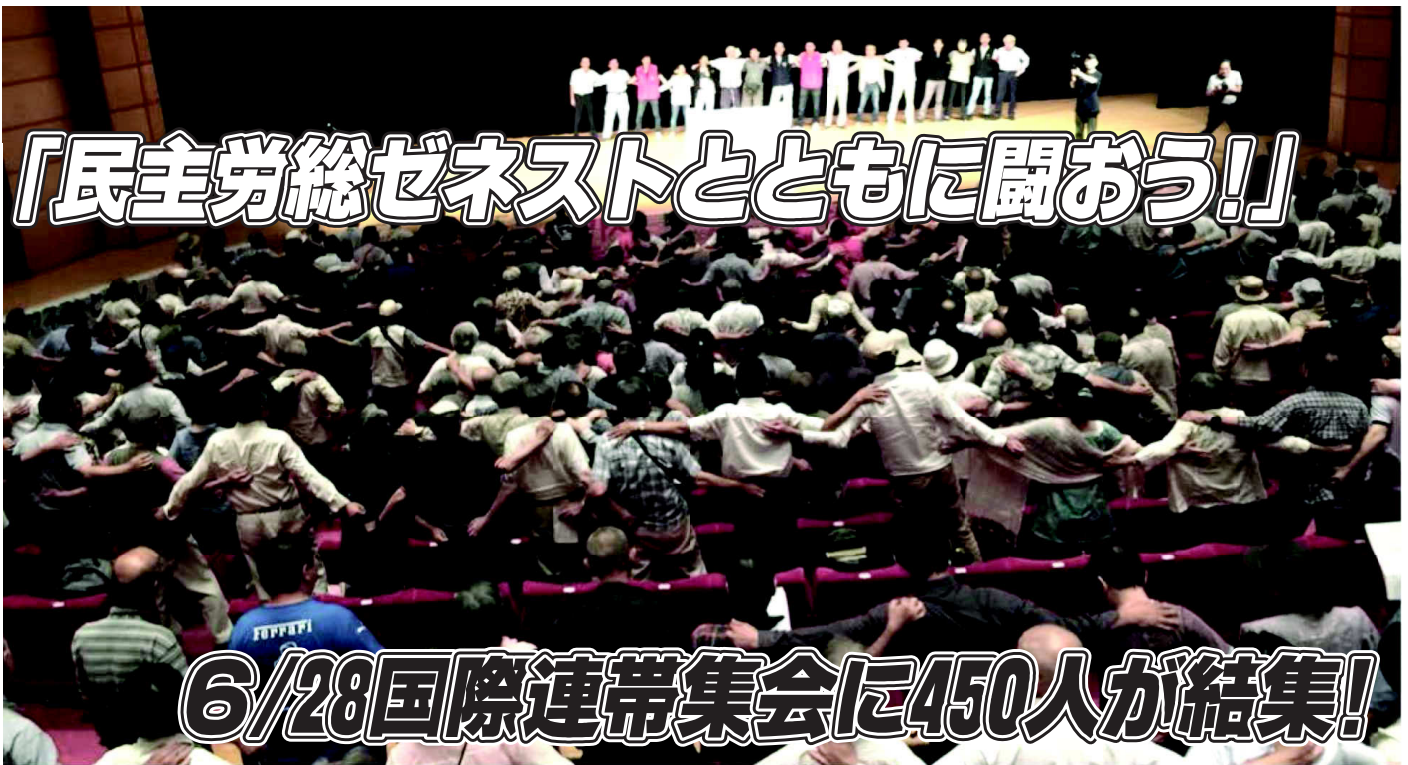


安保・戦争国会粉碎へ!

2015年6月29日
No.304

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信



「民主労総ゼネストとともに闘おう!!」

6/28国際連帯集会に450人が結集!

「7・15国会包囲大闘争に総決起しよう!!」

斎藤郁真委員長の国会闘争アピール!

来たる7月15日、全学連は全国労組交流センターとともに、本日の国際連帯集会の内容をより一層推し進め、韓国・民主労総第2波ゼネスト(パククネ政権を倒す闘い)との連帯をかけ、国会包囲行動とデモを行います! 日本の地で安倍政権を打倒する一日行動をやり抜こう! 全国の労働者・学生は職場・キャンパスをストライキで空っぽにし、7・15は「誰がこの社会の主人公なのか」をハッキリさせる日にしよう!

私たちはこの間、6・15国会包囲闘争で安倍政権を倒せる勝利感をつかみ取ってきました。6・15のみならず、あらゆる活動や街頭宣伝で、多くの労働者・学生がこれまでとは一変し、

行動と方針を求め、ストライキへ自分たちも闘おうという想いが職場・街頭・キャンパスに溢れています。

安倍政権は今、多くの人々の怒りに追いつめられ崩壊寸前です。6月25日の「百田尚樹発言」は、自民党の崩壊そのものを示しています。安倍政権は一貫して「戦後レジームからの脱却」を掲げ、今年冒頭からは「戦後70年新談話を発表する」と言い続けてきましたが、このもくろみは事実上粉碎されました! 「日本政府の公式見解」として8・15に発表するはずだったこの新談話は、8月上旬に安倍の「個人見解」として発信せざるをえないという惨状です。公明党の中では「安保法賛成」を「反対」が逆転し、政府与党はドンドン分裂しています。9月27日の延長国会会期末には「解散総選挙するべきじゃないか?」という声も官邸筋から出ていると言われています。

安倍の祖父であり、60年安保闘争の当該である岸信介政権



と同じように、安倍政権は安保法案は強行採決するが、自分は倒れる、こういうペテン的方法で強行突破するしかないと追いつめられています。「もう末期状態だ」と安倍が自白せざるをえないような、激しい攻防になっています。しかし私たちは、安保法案を粉碎して安倍もたおす、そして戦争を止める、これ以外にありません！ その力はどこにあるのか？ そのことをますますハッキリさせなければなりません。

安倍政権は6月、大学で「戦後レジームの否定」として、「学問の自由」「大学自治」への激しい攻撃をかけています。6月16日、86の国立大学学長を呼びつけ、「日の丸と君が代」の強制を大学で行うと通達しました。理系学部での軍事研究。文系学部の廃止・縮小策動。「経済的な徴兵制」。あらためて、戦後大学の原点は何か、が問われています。

全学連は「戦後革命期」ただ中の1948年6月、112大学一約30万人の学生によって、全国での全学ストライキ(ゼネスト)を経て誕生しました。その時のスローガンは、「戦犯教授追放」「学生生活防衛」でした。大学の自由、学問の自由とは、「二度と大学・学問を戦争に動員させない」「そのために学生はすべてをかけて闘う」ということです。「大学を戦争反対の拠点にする」、このことは21世紀の現代においても必ず出来ると私は確信しています。全学連のこの原点は、60年安保闘争-70年安保・沖縄闘争の中で完全に物質化されます。カクマル反革命との闘いや、多くの体制内勢力の反動との対決、国鉄分割・民営化攻撃との闘いにも勝ちきってきました。

その歴史を踏まえ、今あらためて私たちは安倍政権の「戦後レジームからの脱却」攻撃との全面激突になっています。そもそも、「戦後レジーム」自体がペテンであり、「戦後日本=平和国家」という構造自体がまやかashiであり、真の意味で「戦後革命」を貫徹するためにも、今この場から、自らのキャンパスを「反戦の砦」にすることで大学を社会に取り戻す闘いに挑戦しています。民主労総の闘いと連帯は言葉だけではなく、私

たち自身の行動で示していきたい。自分たちのキャンパス、すなわち最も「あきらめること」と「歯車になること」を強制される現場から闘いに立ち上がることで社会を変えていきたい。

7月15日の行動は、6・15闘争とまったく同じで、労働者・学生が国会前に集まるとともに、すべての学生に「ストライキに立ち上がって国会デモに集まろう！」と呼びかけを発し、学生の生き方を問う闘いにしていきます。多くの労働者のみなさんも、ぜひ職場からストライキに決起して、年休を取って、様々な方法で国会前に集まってください！ そうした時に、初めて真の意味で民主労総ゼネストとともに歩む闘いになると思います。7・15行動を、世界を変え社会を根本から変える闘いにしましょう！ 安倍政権は7月10日前後の衆院強行採決を狙っています。安倍政権を9月を待たず倒す！ 7月15日をそうした日にしましょう！ よろしくお祈りします！



【当面する行動方針】

●7・1「集団的自衛権閣議決定1周年」弾劾！ 法大包囲デモ

7月1日(水) 12時半に法政大・市ヶ谷キャンパス集合～13時にデモ出発

→その後、国会前での抗議行動(15～17時に衆議院第二議員会館前にて集会と座り込み)

●安倍をとともに倒そう！ 7・5大集会

～「7・1 集団的自衛権閣議決定」一周年 改憲・戦争・原発・首切りのABE TAOSE!～

7月5日(日) 13時～ 東京・ニッショーホール(消防会館2F)にて

【主催】許すな改憲！ 大行動(改憲・戦争・原発・貧困許さない大行動 <http://yurusunakaiken.com/>)

●“民主労総第2波ゼネスト連帯！” 7・15国会包囲一日行動

7月15日(水) 9時から終日：国会前にて座り込み

12～13時：霞が関・国会デモ(11時半に日比谷公園霞門に集合)

15～17時：衆議院第二議員会館前にて集会と座り込み

【主催】全国労働組合交流センター／全学連



●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。